

機能別相互診断記録 (1 / 2)		診断日	20xx年 6月 27日 (9 : 30 ~ 16 : 00)		
受診部署	方針管理外		診断者	□, □□, □□	受診部署 部長
受信側 出席者	別紙スケジュール表のとおり			_____	
番号	質問事項	回答		関連資料名	
1	品質方針の良い製品を提供しつづけるために、どんな考えで経営を進めてきたのか。				
2	94年度,TQMを導入した理由およびその契機はなにか。				
3	同品質上の観点ではどうか。				
4	ISO9001をTQM推進の中間目標としているが、これがTQM推進上どう役立ったか。				
5	経営目標をどのように設定し、また経営課題の達成にどう取り組んできたか。				
6	挑戦的目標課題とあるがどんな意味か。				
7	相互関連調整会議の主催者が実説と重点説明資料では異なっているが何故か。				
8	グループワイドの品質管理活動とはどんなものか。				
9	品質以外の機能について日常の問題点をとあるがどんなことか。				
10	経営改善のプログラムとしてどんなものに取り組んできたか。				
11	品質不具合、不適合品、不合格品、クレームなど、夫々どう違うのか、定義はどんなになっているか。				
12	顧客に製品トラブルが発生しないようとはどんな意味か。				
13	顧客満足度と魅力ある品質づくり込みはどう関係するのか。				
14	製造技術の開発はどんなやり方・しくみにより進めてきたのか。				

機能別相互診断記録 (2 / 2)		診断日	20xx年 6月27日(9:30~16:00)
番号	質問事項	回答	関連資料名
15	開発技術力、技術開発、製造技術など用語をどのように定義しているか。		
16	施工ノウハウとあるがどんなノウハウをいうのか。		
17	新製品売上高は経営課題にある新規事業とどう関係するのか。		
18	C&Q購入価格とはなにか。		
19	開発について導入時の問題点がしくみが弱かったとあるが、どんな活動を進めてきたのか。		
20	情報収集から顧客ニーズをとらえ開発に取り組んだ事例を説明してほしい。		
21	親密度評価点は何人を対象としたものか、また評価者は誰か。		
22	同評価点を上げるためにどんな活動をしたか。		
23	クレーム対応はどれ位向上しているか。		
24	クレーム処理により顧客の信頼が向上したとあるがどんなことか。		
25	今後の進め方で、受注率の精度を上げるとあるがどう取り組んでいるか。		
26	年度日割生産量の目標値の設定根拠は何か。前年度をどう反映しているか。		
27	工場余力に見合う受注活動とはどんなものか、またそれにどう取り組んでいるか。		
28	原価管理の効果について、実説ではPC製品以外に示されていないが何故か、またPC以外の製品ではどんな効果か。		
29	原価管理のしくみについて、目標原価と積算精度との関係を説明してほしい、また積算精度とは何か。何を基準にして精度を測るのか。		
30	設計時原価低減とは何か、それと活動のねらいとの関係はどうか。		